

川崎港コンテナターミナルが全国**初**の CNP 認証を取得しました！

本日、川崎港コンテナターミナル（川崎区東扇島）が、「CNP 認証（コンテナターミナル）」制度の、創設後全国初となる認証を取得しました。この制度は、今年度から国土交通省が運用を開始した、港湾のターミナルにおける脱炭素化の取組を客観的に評価するもので、国土交通省が推し進める脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化や水素・アンモニア等の受入環境の整備等を図るカーボンニュートラルポート（CNP）形成の取組の一環として創設されました。今回の認証で川崎港コンテナターミナルは脱炭素化の取組評価として最高レベル 5 中、レベル 4+（プラス）の高い評価となっています。認証有効期間は令和 7 年 9 月 2 5 日から令和 1 0 年 9 月 2 4 日までの 3 年間で、今後、更なる脱炭素化の取組を進め、脱炭素を重視する企業（荷主や船会社等）から選ばれる港としての信頼性を高めてまいります。

1 「CNP 認証（コンテナターミナル）」とは

国土交通省が推進する「カーボンニュートラルポート（CNP）」の取組の一環として、令和 7 年 6 月に創設された制度です。

この認証制度では、認証申請のあったコンテナターミナルにおいて、温室効果ガスの排出削減など、環境に配慮した取組の実施状況を 5 段階（レベル 1～5）で評価します。認証有効期間は 3 年間です。

認証を取得することで、環境への取組が「見える化」され、脱炭素を重視する企業（荷主や船会社等）から選ばれる港としての信頼性が高まることが期待されています。

※制度の詳細については、国土交通省「CNP 認証ポータルサイト」を御参照ください。

https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_fr4_000088.html



【CNP 認証 ポータルサイト】

2 川崎港コンテナターミナルの評価

今回、全国で 5 つのターミナルが認証されており、そのうち川崎港コンテナターミナルは 5 段階中、レベル 4+の評価を受けています。

【評価を受けた主な脱炭素化の取組】

- ・港湾脱炭素化推進計画の作成
- ・CO₂フリー電力の導入
- ・低・脱炭素型荷役機械の導入
- ・LED 照明の導入
- ・環境に配慮した船舶への入港インセンティブの導入
- ・ゲート前の渋滞、ヤード内の滞留対策の実施



【CO₂フリー電力で動く荷役機械】

問合せ先

川崎市港湾局港湾経営部経営企画課 三枝
電話 044-200-3065

（参考）川崎港、川崎港コンテナターミナルの概要

川崎港は「国際戦略港湾（国際競争力の強化を重点的に図る必要がある港湾で、国内では、東京港、横浜港、川崎港、大阪港、神戸港の5港）」に指定されています。令和6年の輸出額は1兆2,692億44百万円、輸入額は2兆8,741億61百万円です。取扱貨物は主にLNG、原油などの燃料のほか、完成自動車などがあります。

川崎港コンテナターミナルは、東京湾内の川崎市東扇島地区に立地する水深－14m岸壁延長350mで平成8年4月に供用を開始しました。平成14年度には岸壁延長が81m延伸されて431mとなり、全長200mクラスの本船であれば2隻同時着岸も可能です。

川崎港について

<https://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/29-6-1-0-0-0-0-0-0-0.html>

川崎港コンテナターミナルについて

<https://www.city.kawasaki.jp/580/page/0000022057.html>